



練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第21号

発行 昭和58年2月28日



第三十五回練馬区民体育大会

スキー競技を最後に

全競技終了

区民体育大会閉幕!!

参加選手 一七、五〇〇名

八月の猛暑の中、開幕した、区民大会も秋から冬と順調に消化し、二月のスキー競技をもって、全日程を終了、無事閉幕となった。後半の各競技の成績は次の通り。

陸上競技

十月十七日、中央グラウンド跡地

参加 五四一名

●中学男子

一〇〇米 竹原 浩(田柄)

一五〇〇米 鶴見 憲道(開一)

三〇〇〇米 上原 賢二(田柄)

四〇〇〇米リレー 貫井中A

走巾跳 吉川 秀(貫井)

走高跳 内野 隆之(貫井)

砲丸投 吉谷 淳(貫井)

●中学女子

一〇〇米 山内 喜美子(田柄)

八〇〇米 中村 由美(田柄)

四〇〇〇米リレー 田柄中A

走巾跳 志賀 美智代(貫井)

走高跳 鈴木 順子(関)

砲丸投 飯田 千絵(田柄)

●高校男子

一〇〇米 矢沢 秀一(早学)

四〇〇米 竹田 直司(練工)

一五〇〇米 阿部 健三(田柄)

五〇〇〇米 小室 滋高(武蔵)

四〇〇〇米リレー 早稲田学院

走巾跳 仲原 謙二(早学)

走高跳 室井 勝(田柄)

砲丸投 山上 徹(学園)

●一般男子

一〇〇米 三十才代

四〇〇米 原間 裕

四〇〇米 篠原 庸雄

五〇〇米 篠原 庸雄
五〇〇〇米 菅原 義敬
走巾跳 原間 裕
走高跳 紺野 憲雄
砲丸投 増田 英四郎

●一般男子 四十才代

一〇〇米 有 浩二

四〇〇米 田島 光

一五〇〇米 菅原 富雄

五〇〇〇米 菅原 富雄

走巾跳 庄司 金二

走高跳 河井 俊平

●一般男子 五十才代

一〇〇米 大川 信夫

一五〇〇米 佐々木

走巾跳 大川 信夫

●高校女子

一〇〇米 黒田 恵子(学園)

八〇〇米

四〇〇〇米リレー 大泉学園高

砲丸投 長岡 靖子(練馬)

●一般男子 三十才未満

一〇〇米 三才未満

四〇〇米 大石 光宏

一五〇〇米 榎本 田孝兄

五〇〇〇米 江原 誠一郎

走巾跳 江原 誠一郎

走高跳 宮野 朗

砲丸投 横山 慎彦

加藤 源八

松井 敏裕

●一般男子 六十才代

一〇〇米 塚河 庄蔵

一五〇〇米 上延 良雄

砲丸投 龜谷 昂

一般女子 三才未満

- 一〇〇米 工藤洋子
- 走巾跳 斉藤明美
- 走高跳 斉藤明美

●一般女子 三十才代

- 一〇〇米 後藤 翠
- 一五〇〇米 後藤 翠
- 走巾跳 滝田美穂子

●一般女子 四十才以上

- 一〇〇米 小宮 藤子
- 一五〇〇米 木下 かずよ

バトミントン競技

十月三十一日、十一月三日、十一月二十一日、二十八日
区立総合体育館

参加一般七四名 中学四九四名

男子シングルス

- 1 小林 (春日)
- 2 等々木 (春日)
- 3 新田 (春日)

村田

女子シングルス

- 1 冨田 (羽会)
- 2 大里 (一般)
- 3 須藤 (西中OB)

末永 (ファミリー)

混合ダブルス

- 1 春日・春日 (春日クラブ)
- 2 小倉・松尾 (エーデル)
- 3 篠・佐藤 (春日クラブ)

新田・新田 (春日クラブ)

初心者男子ダブルス

- 1 小野・竹本 (YKC)
- 2 大田・橋場 (YKC)
- 3 高田・石井 (石神台)

立花・菊地 (ウイングス)

初心者女子ダブルス

- 1 小竹・鈴木 (ひこうせん)
- 2 河原・岡島 (貫井BC)
- 3 永井・吉田 (光和小)

原・遠藤 (クリアール)

三十五才以上男子ダブルス

- 1 高田・久野 (春日田柄)
- 2 吉田・辻 (田柄)
- 3 小山・宇田 (イーグル)

雲野・中村 (関中トリム)

三十五才以上女子ダブルス

- 1 白倉・芳賀 (練馬ク)
- 2 渡辺・中山 (エーデル)
- 3 大平・相川 (練馬)

竹内・寺島 (練馬)

四十五才以上女子ダブルス

- 1 大神田・相吉 (練馬)
- 2 高橋・橋本 (クリアーズ)

大木・奥田 (北町)

阿部・関 (関)

五十嵐・阿部 (八坂)

武市・橋本 (大泉西)

川部・鈴木 (関)

重田・星 (八坂)

小林・庄司 (大泉西)

吉川・谷治 (兩ヶ丘)

小島・木下 (八坂)

岩崎・花塚 (北町)

磯部・才武 (関)

大崎・末永 (北町)

米本・大朝 (八坂)

米本・大朝 (八坂)

- 2 阿部・谷内 (関)
- 3 石井・西川 (八坂)

松本・松村 (豊漢)

本年も四日間で実施した、一般

の延べ参加人数が昨年の四〇六人

から七一四名と約一・八倍と増加

し、かなりの過密スケジュールと

なった。それにもかかわらず、役

員、参加者の協力によって、事故

もなく終了できたことを嬉しく思

います。

今後の課題として、日程の増加を

計る一方、参加日数の制限強化、

種目の日割りの検討などを行い、

より楽しい区民大会となるよう心

がけたい。(村田光二)

九月二十三日、北町中学校

参加 四八七名

団体戦

1 第一普通科連隊四中隊A

浜田、平井、後藤

2 第一補給隊

佐藤、野口、荒木

3 第一普通科連隊二中隊A

湯本、吉関、桐生

第一普通科連隊二中隊B

丸藤、佐藤、重村

個人戦 (初段の部)

1 雄 山大

2 富田 幸一

3 森 丈二

大井 敏裕

個人戦 (二段の部)

1 穴山 一郎

- 2 柳沢昭博
- 3 吉田邦信

朝 逸雄

個人戦 (三、四段の部)

1 湯本 雅一

2 丸藤 道浩

3 古関 勝

川原 英三

個人戦 (五十才以上)

1 黒柳 浩次

2 遠藤 喜久男

3 吉原 文彦

浅野 大吉

テニス競技

十月十日、十七日、二十四日

豊玉中、高野台区豊コート

参加 一五七組 三二四名

男子ダブルス

1 遠藤、林組 (中野)

2 半谷・鶴組 (桜会)

3 遠山・江川組 (富士見)

宮下・桜台組 (桜台)

女子ダブルス

1 菅野・梶野組 (フォテイ)

2 熊谷・苗木組 (ライジング)

後藤・菅田組 (陽向)

宮内・伊木組 (富士見)

混合ダブルス

1 鶴・鶴組 (桜会)

2 正田・大野組 (ライジング)

3 遠藤・宅味組 (中野)

伊藤・伊藤組 (フォテイ)

壮年ダブルス

1 榎本・加藤組 (石神台)

2 大野・山下組 (ライジング)

(株) 森 本 組

練馬区富士見台4-24-13

TEL 998-1211

ピーシー理化工業(株)

練馬区豊玉北2-4 高野ビル

TEL 948-5160

3 辻田・竹下組 (桜台)
中村・水田組 (陽向)

今年、コート数、種目とも多
え多数の区民が参加盛大に開催出
来ました。初日は時折小雨が降る
天候でしたが、予定通り試合が消
化出来たことは幸でした。

試合内容はかなりレベルが高く、
男子連藤・林組。女子菅原・星野
組。荘年榎本・加藤組。混合鶴・
鶴組が優勝した。

大会運営も区教委、体協のご指導
のもと、競技役員、参加選手の協力
で無事開会出来ました。(鈴木雄)

卓球競技

十一月十四日、二十日
区立総合体育館
参加 五九四名

- 一般男子
- 1 千代延 (フライデー)
 - 2 日比野 (北上クラブ)
 - 3 矢嶋 (日販)
- 男子シニア
- 1 佐々木 (三原台)
 - 2 吉田 (貫井クラブ)
 - 3 井上 (都交通属)

中学男子

- 1 竹詰 (練馬東中)
- 2 大聖寺 (練馬東中)
- 3 大野 (貫井中)

- 一般女子
- 1 大場 (フライデー)

- 女子
- 1 秋場 (高野台)
 - 2 帝邸 (茜クラブ)
 - 3 富樫 (水蓮クラブ)

- 女子
- 1 安城 (フエニックス)
 - 2 角野 (フエニックス)
 - 3 加藤 (あじさい)

- 中学女子
- 1 松崎 (練馬東中)
 - 2 高島 (練馬東中)
 - 3 佐藤 (練馬東中)

中学生の参加制限で、昨年より
人員は少なくなった。来年度は、中
学生一日、一般一日と分ける日程
とした。

試合内容では、サーブの乱れが目
についた。正しいサーブの指導を
すすめてゆきたい。(吉浦邦良)

軟式庭球

区営、豊玉中、高野台コート
九月五日 中学団体 九十四名

- 男子
- 1 開進二中 A
 - 2 学大附属 A
 - 3 学園中 A
- 女子
- 1 旭丘中 A

- 十月三十一日 団体戦 三十九
- 1 練馬中 A
 - 2 富士見中 A
 - 3 石神井中 A

- 男子
- 1 羽沢クラブ B
 - 2 陸軍事務所
 - 3 桑門クラブ
- 女子
- 1 羽沢クラブ
 - 2 石神井台クラブ
 - 3 高野台クラブ

九月二十六日、十月三日
個人戦 一一三組 二二六名
一般男子一部

- 一般男子一部
- 1 真野・高田組 (井草)
 - 2 奥富・原組 (恩)
 - 3 小林・宗政組 (こぶし)

- 一般女子一部
- 1 高山・上原組 (練中)
 - 2 三好・山下組 (羽沢)
 - 3 久下・篠原組 (石神井台)

- 一般女子二部
- 1 坂井・佐々木組 (大泉南)
 - 2 百丈・安藤組 (こぶし)
 - 3 秋山・丸井組 (高野台)

- 成年の部
- 1 高梨・児玉組 (早宮)
 - 2 中沢・赤羽組 (豊中)
 - 3 長谷川・野口組 (こぶし)
- 壮年の部

- 1 吉野・鷺組 (桑門)
- 2 三好・大西組 (羽沢)
- 3 赤尾・池田組 (小竹)

女子ではママさん選手の活躍が
目立った。特に団体戦は四本とも
ママさんクラブの選手だった。

女子個人戦一部でママさん選手以
外の選手が優勝したが、都民大会
等の区外の大会で勝つには若い選
手が出てこないことには難しい。

バスケット競技

九月二十六日、十月三日、一〇日
十月十七日、二十四日
区練馬体育館、石神井東中
参加 三十三チーム

男子の部

準々決勝

ファンテンズ57対27ジャックス

石西中OB 61対54フェンサーズ

クスターズ 68対62キングス

フロアエーズ76対74NUC

準決勝

ファンテンズ56対42石西中OB

フロアエーズ61対50クスターズ

決勝

ファンテンズ63対47フロアエーズ

女子の部

準決勝

LFエンサス40対35大泉高OG

三龍会 39対32井草高OG

時計・メガネ・宝石

水野時計店

上石神井1-417
TEL 928-6411

第一勧業銀行

練馬平和台支店
TEL 932-8211

練馬区旭丘1-67

矢崎会計事務所

矢崎久雄
TEL 951-5456

決勝

三龍会 53、35、17フェーズ
年々レベルが高くなって来ているが、本年は特に男子石神井西中OBプロフェッショナルが準決勝に進出、新しい波がよせて来た。フアンデイズが実力を発揮し優勝した。女子は、力が接近し、準決勝では一進一退の好ゲームを展開した。優勝は若さと、スタミナの三龍会が快勝した。(安藤幹男)

弓道競技

十月二十四日 体育館弓道場

参加 六十三名

初級の部(無、初段)

- 1 友野広久
- 2 矢野正美
- 3 井出和男

中級の部(二、三段)

- 1 蟻坂 隆
- 2 金井和子
- 3 馬場みち子

上級の部(四段以上)

- 1 白井竹四良
- 2 広瀬 守
- 3 寺門正道

称号者の部(練士、教士)

- 1 浅野共生
- 2 石井信子
- 3 佐瀬瑞生

アーチエリー競技

十月十七日 大泉中学校庭

参加 五十八名

- 一般男子
- 1 若松 汎 五六六点

- 2 島田晴男 五四六點
- 3 中川昭弘 四八五點
- 一般女子
- 1 石黒喜久子 五三九點
- 2 裨田紀子 四九六點
- 3 陳 宝蘭 三七三點

壮年男子

- 1 吉川 登 五二二點
- 2 落合忠士 四五五點
- 3 巖 宏 四二九點

壮年女子

- 1 碓井免子 四八四點
- 2 大蔵文字 四八一點
- 3 砂田昴子 四三〇點

大学男子

- 1 東 紀秀 六〇一點
- 2 小沢千昭 五八二點
- 3 長谷英 五七八點

大学女子

- 1 高野三奈子 五七一點
- 2 岡田江理子 五四〇點
- 3 今井 五三五點

高校男子

- 1 崎田信太郎 五七九點
- 2 岩永隆志 五六五點
- 3 野村史央 五五五點

コンパウンド(U.L)

- 1 望月英子 五六七點
- 2 小林政雄 五四九點

区教委、協会関係者の協力により盛大に終了することが出来た。天気、晴、微風の日和であったが記録的には低調であった。本年より、より多くの参加者をとの姿勢のため、記録的には伸びな

かったが、アーチエリー競技の普及には、大きな役割を果したと思えます。(榎本芳弘)

クレール射撃競技

十月二十四日

松山市、百六射撃場

参加 五十五名

トラップ

- A組 1 松本治三郎
- 2 長渡道弘
- 3 中里憲治

B組

- 1 吉田賢一
- 2 古谷野正一
- 3 飯田富士雄

C組

- 1 一戸 爽
- 2 加藤喜八
- 3 岩島 勲

D組

- 1 有賀昭郎
- 2 岩島 勲
- 3 岩島 充

スキート

- A組 1 恩田弘三
- 2 東陸之助
- 3 桑原忠幸

B組

- 1 神戸甲吉
- 2 繩手隆夫
- 3 岩村政典

C組

- 1 稲見達也
- 2 上野純治
- 3 三井入太郎

D組

- 1 根津松美
- 2 福士政治
- 3 大澄 直

満点賞

- 東 陸之助

本年度は地理的にも近い、群馬

での団体だけに、是非とも、練馬からも東京都代表選手を送り出したいと考えています。トラップ競技に二名の有望選手がおり、実現したいと思えます。(長谷川義夫)

空手道競技

十一月七日 区総合体育館

参加 五一〇名

組手個人戦

有段者の部

- 1 安楽信一 武徳会
- 2 玉城 毅 常心門
- 3 杉田哲人 武徳会

女子の部(高校以上)

- 1 細谷ひとみ 武徳会
- 2 大里郁子 常心門
- 3 吉野悦子 武徳会

鍋島美保子 武徳会

段外の部

- 1 井手昌寛 武徳会塚田
- 2 山瀬俊彰 武徳会塚田
- 3 三村敏明 武徳会

塚田和志 練馬

高校の部

- 1 柳 哲根 武徳会
- 2 松本政治 武徳会
- 3 早川輝義 武徳会塚田

加藤久雄 武徳会

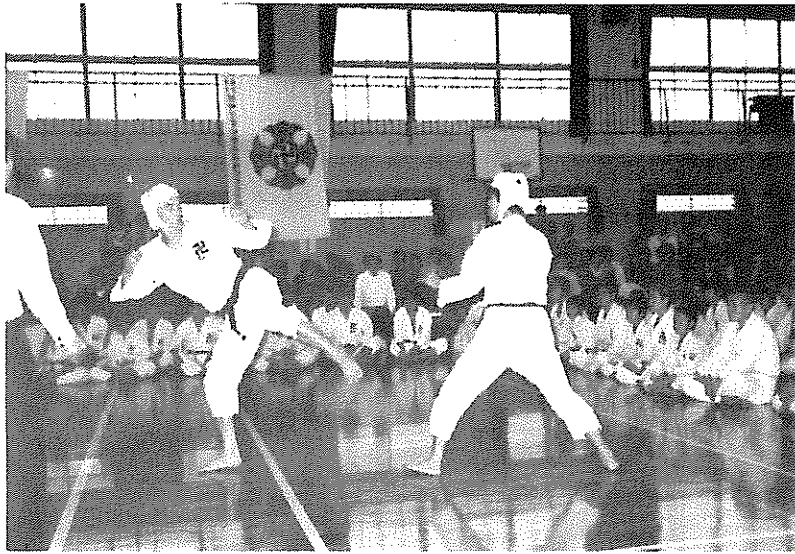
中学男子の部

- 1 陶山 健 武徳会
- 2 宮城雄一 武徳会
- 3 赤羽 清 武徳会

井 紀孝 日新

<p>練馬区 軟式庭球連盟 会長 小口 政雄</p>	<p>ニューキリン 練馬区豊玉北5-17 TEL 994-2233</p>	<p>練馬区中村北3-22-5 パブレストラ 檮 TEL 970-7151</p>	<p>(株)太陽徽章 製作所 千代田区外神田 2-1-15 TEL 255-2701(代)</p>
------------------------------------	---	---	---

- 〔学女子の部〕
- 1 鶴巻敬子 武徳会
 - 2 鶴巻麻子 武徳会
 - 3 井原木陽子 尚心会
 - 小学高学年の部
 - 1 白岩淳司 武徳会
 - 2 小林隆之 武徳会
 - 3 島田裕二 尚心会
 - 小学低学年の部
 - 1 山崎淳司 武徳会
 - 2 山田 清 武徳会塚田
 - 3 徳田信也 武徳会
- ◎団体戦(相手)
- 有段者の部
 - 1 武徳会 A
 - 2 常心門 A
 - 3 常心門 B
 - 武徳会 B
 - 女子の部
 - 1 武徳会 A
 - 2 常心門 A
 - 3 武徳会 B
 - 尚心会 B
 - 段外の部
 - 1 日本大学 A
 - 2 尚心会 A
 - 3 武徳会塚田 A
 - 武徳会 A
 - ◎型
 - 有段者の部
 - 1 内藤 明 武徳会
 - 2 渡辺 薫 武徳会
- 3 杉田哲人 武徳会
 - 安楽信一 武徳会
 - 女子の部(高校以上)
 - 1 大里郁子 常心門
 - 2 渡辺真理子 常心門
 - 3 細田ひとみ 武徳会
 - 和田恵子 常心門
 - 段外の部
 - 1 三村敏明 武徳会
 - 2 伊藤行徳 日大
 - 3 青木辰之 武徳会塚田
 - 土屋貴司 日大
 - 高校生の部
 - 1 飯塚秀司郎 武徳会
 - 2 半田 明 武徳会
 - 3 伊藤真輝 武徳会
 - 反田一彦 武徳会
 - 中学男子の部
 - 1 矢島 忠 武徳会
 - 2 宮越雄一 武徳会
 - 3 井 紀孝 日新
 - 海老名正 日新
 - 中学女子の部
 - 1 鶴巻敬子 武徳会
 - 2 井原木陽子 尚心会
 - 3 矢野洋子 尚心会
 - 鶴巻麻子 武徳会
 - 小学高学年の部
 - 1 高橋真吾 武徳会
 - 2 須藤弘幸 武徳会
 - 3 白岩淳司 武徳会
 - 井草優美 武徳会
 - 小学低学年の部
 - 1 徳田信也 武徳会
 - 2 新井康太 武徳会



- 3 佐藤徹也
- 田中伸直
- 少林寺拳法競技
- 十一月七日 下石神井小学校
- 参加一四四名
- 。年少の部
- 1 牧野真次・森 幹雄
- 2 仁熊昌且・羽成隆幸
- 3 星本成直・辻村 與
- 佐々木滋・原 彰
- 。女子の部
- 1 野口貴子・井出睦瑞
- 2 篠原 緑・福山美由紀
- 3 秋田裕子・菊地玲子
- 。級傘士の部
- 1 吉留裕之・内田睦男
- 2 平山崇夫・岡田望一
- 3 高山邦彦・大江裕之
- 。準傘士の部(初段)
- 1 三宅弘訓・茶原壽晴
- 2 金井哲男・高橋勝浩
- 3 山下正広・植田哲司

<p>真栄整骨院</p> <p>旭町3-32-19</p> <p>TEL 930-4755</p>	<p>三弘カーボン印刷社</p> <p>関町北2-34-3</p> <p>TEL 920-2338</p>	<p>レストラン・プロスター</p> <p>研修室第1・第2・120席</p> <p>会議室 24席</p> <p>和室 40席</p> <p>クラブ室 12席</p> <p>貫井1-36-18 サライフ練馬内</p> <p>TEL 999-0525</p> <p>パテなど宴会の用意出来ます</p>	<p>城北経営 労務相談所</p> <p>豊玉北5-15-18</p> <p>高橋 哲夫</p> <p>TEL 993-1732</p>
---	---	--	--

少拳士の部 (二段以上)

- 1 山口正記・宮崎裕士
- 2 大沢隆・荒木隆
- 3 糸崎義直・藤原彰弘

- 1 辻村真一・中平輝人
- 2 庭野裕逸・草地芳久
- 3 奥原茂・森茂雄

- 1 種村正巳・伊藤孝継
- 2 勝田啓司・小田淳志
- 3 大沢栄・柳正幸

- 1 佐野正則・鈴木幸雄
- 2 石田敏也・先崎秀明
- 3 桜井要・多賀浩人

- 1 三宅利昌・久保叔幸
- 2 小沢英明・野中孝倫
- 3 野平拓大・進十哲也

- 1 輪十正人・岡田達雄
- 2 清水洋一・中島教男
- 3 都田政文・国居秀則

- 1 岡田謙一 二二秒七
- 2 勝崎明 二四秒二
- 3 岩田賢治 二四秒三

- 1 山田真佐子 二五秒二
- 2 難波徳子 二八秒五

3 蓮藤みさと 二八秒五

- 1 伊藤達也 三五秒二
- 2 勝崎仁 三七秒二
- 3 本多正典 三八秒三

- 1 河西奈美子 一九秒〇
- 2 鈴木純子 一九秒五
- 3 加藤みちる 二二秒八

- 1 佐野徹 一分〇五秒七
- 2 津嗣公孝 一分〇七秒二
- 3 金子一郎 一分二秒三

- 1 山内美雪 四一秒六
- 2 鈴木裕子 四二秒三
- 3 黒瀬聖 四二秒六

- 1 市川智子 四二秒八
- 2 高橋裕子 四六秒八

- 1 駒井恵 一分一七秒八
- 2 小林忠 一分二六秒九
- 3 村上岳 一分五八秒七

- 1 荒井尚子 一分〇六秒六

今年も又、豊島園にお願いしての特設リンク。滑走面に対し少しでもよいものをと修理して下さい。豊島園側のご好意は、本当に有難かったです。初心者だけに万一、事故でもおきたらと、ビヤビヤ

の教室と区民大会でした。

「安全に滑れるローリースケート」リンクの設置を要請して、もう五年。他区のような区営リンクはいっつ出来るのでしょうか？一六〇名参加の教室だけを見ても年間を通して、基本から、スピード・フイギュー・ホッケーまで指導の体制を一日も早く実現したいものです。

行政の真剣な取りくみを心からお願い申し上げます。(田代)

一般の部
八月〜十二月
中大ランド跡地・外
参加 一六一チーム

準々決勝
タガラ 3-2 ポバイ
四葉クラブ不戦勝
光栄クラブ 0-0 南部ファイタ
全大泉 2-1 東映ベルジエ
開進ユニ 6-0 柏クラブ
リニージュ 4-2 クガーズ
大泉トウゲ 2-0 ヤンガーズ
西練馬電話 9-1 東電東友

準決勝
タガラ 9-6 四葉クラブ
全大泉 3-2 光栄クラブ
開進ユニ 9-8 リニージュ
大泉トウゲ 7-7 西練馬電話局

タガラ 2-1 全大泉
大泉トウゲ 1-0 開進ユニオン
三位決定

全大泉 1-0 開進ユニオン

大泉トウゲザ
4-1 タガラアロン
中学の部
十月十七日〜十一月十四日
田柄球場、開進二中グラウンド
参加 十八チーム

準々決勝
全練馬 7-6 城北北ク
開進ク 3-1 春日
北町 5-1 開進二中
黒百合 6-0 光

準決勝
開進ク 5-0 全練馬
北町 4-3 黒百合

決勝
開進クラブ 17-0 北町

一般の部は、真夏の八月に一回戦を開始、以来四ヶ月の長期にわたっての戦いも関係役員の献身的な協力によって無事終了することが出来ました。

照りつける猛暑の日も、強風の日も、小雨の日も、可能な限りなんとか試合を行いました。その結果前年に比べ順調に消化し、十一月十四日、約半月早く終了することが出来ました。第二部(中学生)も一ヶ月でこれ又無事終わりました。

二〇〇チーム、二、五〇〇人を越える選手の参加、来年は尚、多くなることでしょう。

関係者のご協力で紙上より厚くお礼申し上げます。

サッカー競技

少年の部
九月十一日〜十一月二十七日
中央グラウンド他 六会場
参加 九十チーム
一部(六年)

準々決勝
橋戸 2-0 立野
練三 3-0 向山
早宮A 2-0 上北
石台 3-0 大六

準決勝
練三 1-0 橋戸
石台 1-1 早宮A

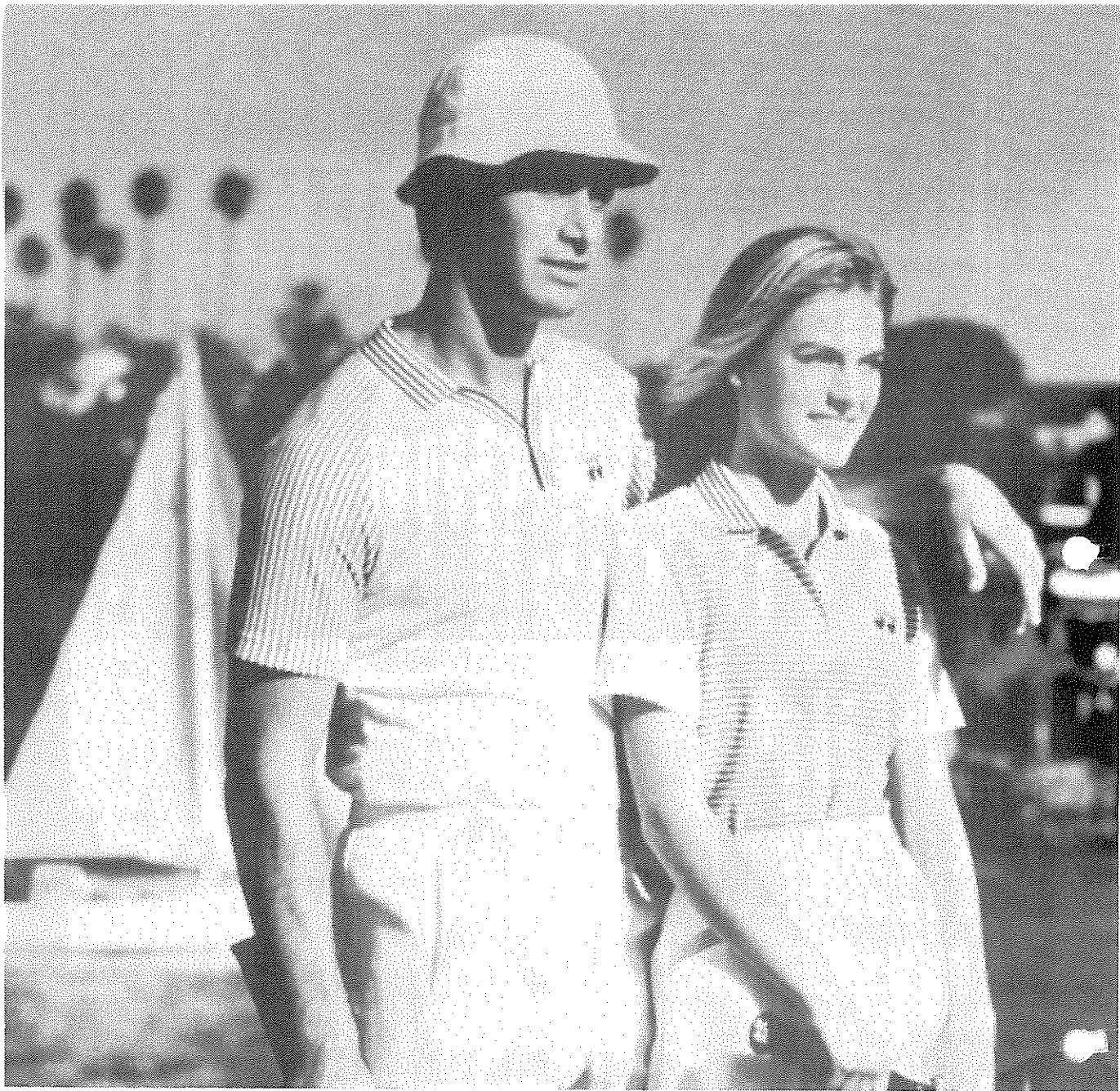
三位決定
PK 4-3
橋戸 6-0 早宮A

決勝
練馬三 1-0 石神井台
2-0

準々決勝
大六A 2-0 練三
豊東 5-0 中西
坂原A 4-1 小竹A
石台 4-0 石東

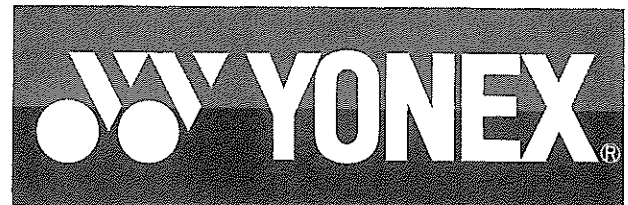
準決勝
豊東 2-0 大六A
北原A 4-1 石台

三位決定
石神井台 6-0 大泉第六A
後記
北原A 2 1-0 豊玉東
1-0



**WE
LOVE
YONEX**

青い空が好き、緑の風景が好き。
ヨネックスが好き。
こちらスポーツカントリー。



三位決定戦に進出、おしくも敗れましたが、大泉第六チームは、全員女子選手の異色チーム、なみいる男子のチームに連勝、ここまでの進出は大いに賞賛したい。

●一般の部
九月十九日～二十日五日
中大クラウンド跡地
参加 三十三チーム

準々決勝
学園クラブ 2-1 熊の会
練馬蹴人会 5-0 FC大泉
通研サッカ 2-0 旭町
ユースユニ 1-1 練馬スポ

準決勝
練馬蹴人会 2-0 学園
通研サッカ 1-1 ユースユ
PK戦 5-4 ニオンス

三位決定
学園サッカ 1-1 ユースユ
PK戦 6-5 ニオンス

決勝
練馬蹴人会 4-0 通研
スケート競技
一月十六日 赤城大沼リンク

参加 三十五名
。一般男子五〇〇米
1 渡辺 徹 四八秒二
2 黒沢 誠 四八秒三
3 高柳 淳 五〇秒六
。一般男子一〇〇〇米
1 渡辺 徹 一分五四秒九
2 高柳 淳 一分五五秒一
3 黒沢 誠 一分五七秒二
。少年五〇〇米

1 内田弘彰 一分〇五秒〇
2 内田法義 一分十二秒七
3 内田政也 一分二十九秒一
。初心者一〇〇米
1 石井三恵子 十一秒八
2 石井弘子 十二秒〇
3 井口純子 十三秒三
。フィギュア

1 大高直美
2 石井裕子
3 石井弘子

記後
大会を例年より半月早めた事で、暖冬のためのコンディションが心配されたが、結果的には結氷間もなかつた事で氷質が良く久しぶりにスピードに大会記録が出た。特に渡辺は二種目優勝、パワーをつければ将来が楽しめた。

フィギュアは武蔵大の大高が二位以下に大差をつけ優勝した。

スキー競技
木島平スキー場、牧の入
三月十三日 参加九十名

●オープン競技(初心者)
一部
1 池田俊子
2 田中昌代
3 鈴木 操
二部
1 大塚雅子
2 岸川剛之
3 長谷村裕子
●女子大回転
一部(三〇才未満)

1 大矢偉津子 四五秒七〇
2 高見沢尚子 四八秒八一
3 石岡 路代 五二秒二六
二部(三〇才以上)
1 青木 昌子 四九秒三四
2 田中 愛子 五五秒四〇
3 若林 陽子 五七秒七六

●男子大回転
一部(三十五才未満)
1 加藤 正人 三八秒七七
2 加辺 近司 四〇秒五三
3 鳥海 儒晃 四〇秒九六
二部(四十五才未満)
1 諸田 義友 四一秒八六
2 橋本 透 四六秒五六
三部(五十五才未満)
1 奥崎 喜久 四一秒六〇
2 田中登喜三 六四秒〇六
四部(五十五才以上)
1 露木 満 四九秒五九
2 富沢 通夫 五三秒一四

直線コース 五五〇米
旗門 二〇ヶ所
天候 小雪

後記
時々、小雪が舞ったものの、まあまあの気象状況の中、午後十二時三十分大会は開会された。競技は、まず初心者の部より開始した。この競技は早さを競うものでなく、定められたタイムに最も近いタイムでその距離を滑ることが義務づけられている。正式種目の大回転は約五五〇米のコースに立てられた二〇ヶ所の旗門を回転

により通りぬけタイムを競うものです。旗門距離については、極端な難所をなくし、割合に容易なコースを設定した。
男・女とも、年齢別によって、女子を二部門、男子を四部門にわけを行った。
天候に恵まれ、コースコンディションも良好、各選手とも充分、実力を発揮することが出来た。
全競技とも事故者もなく、予定通り、午後四時無事終了した。
区教育委員会、並に区スキー協会の関係者の協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。(寺崎)



城北整骨院 春日町 3-29-13 TEL 990-0258	市毛接骨院 関町 1-6 善福寺コーポ TEL 928-0346	佐久間接骨院 高松町 1-9-10 TEL 999-9830	吉田接骨院 桜台 1-44 TEL 991-5788
--------------------------------------	--	--------------------------------------	----------------------------------

第一回光が丘ロードレース大会

東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城

参加 二八九名



主催 練馬区体育協会

練馬区陸上競技協会

後援 練馬区教育委員会

とき 昭和五十七年十二月十二日

場所 都立・光が丘公園コース

グラウンドハウスの退避から、都民のスポーツ公園として生れかわった、光が丘公園での初のイベントとして、第一回ロードレース大会が開催された。

関東各地より多くの選手が参加好天にも恵まれ、大きな成果をあげて無事終了した。今後は、練馬区、区教委、区体協、区陸上競技協会の合議により、このレースを練馬区の代表的なイベントに育てあげてゆきたいと考えています。

来年は、五〇〇名を超える参加が予想されるだけに、企画から準備に、万全を期し、期待にこたえなければならぬ。

一部 一〇km(四〇才未満男子)
1 三村真一 (荒川) 三一分五八秒
2 田島幸次 (我孫子) 三二分〇一秒
3 沓沢章悦 (板橋) 三二分三三秒
4 水井裕章 (板橋) 三二分四六秒
5 柳原 勝 (練馬) 三三分四四秒
6 中村顕治 (取手) 三四分一八秒

二部 一〇km(四〇才以上男子)
1 甲州博行 (板橋) 三三分三二秒
2 多田睦夫 (狭山) 三三分四七秒
3 石川 大 (練馬) 三三分四七秒
4 矢内茂三 (板橋) 三三分四七秒
5 宮下敏夫 (三芳) 三三分五五秒
6 大友崇秀 (習志野) 三三分四六秒

三部 一〇km(女子)
1 鈴木愛子 (練馬) 四〇分三二秒
2 田畑章子 (練馬) 四二分二七秒
3 横山礼子 (北) 四四分〇八秒
4 吉田三千代 (鎌倉) 四四分五七秒
5 佐藤朱実 (北) 四五分〇三秒
6 高橋尚子 (入間) 四六分二八秒

四部 五km(六〇才未満男子)
1 出口一敏 (練馬) 一六分四四秒
2 村山義和 (練馬) 一六分五二秒
3 桜井利雄 (世田ヶ谷) 一七分〇五秒
4 小林茂欣 (川崎) 一七分二四秒
5 高橋俊之 (杉並) 一七分二四秒

五部 五km(六〇才以上男子)
1 渡辺茂市 (杉並) 一八分五三秒
2 宮崎常吉 (日野) 一九分一七秒
3 佐藤伊蔵 (相模原) 一九分五七秒
4 野口正春 (練馬) 二〇分〇五秒
5 工藤誠爾 (世田ヶ谷) 二〇分〇六秒
6 星川栄三 (板橋) 二〇分一二秒

六部 五km(女子)
1 鈴木加代子 (川崎) 一九分四一秒
2 西郷葉月 (練馬) 二〇分〇四秒
3 平沢孝子 (川崎) 二〇分五八秒
4 工藤はるみ (川崎) 二一分〇九秒
5 矢野洋子 (町田) 二一分一三秒
6 小野口洋子 (練馬) 二二分三三秒

特別表彰

▼完走者中の最高年齢者

男子 松田占太 七七才 練馬
女子 中山きみ 六九才 板橋

城北四区對抗陸上競技会

練馬区総合優勝

十一月三日、中大グラウンド跡地

- 男子
- 三〇才未満
 - 一〇〇米 1 大石光宏 (練馬)
 - 2 高野 朗 (練馬)
 - 四〇〇米
 - 1 桑野雅史 (練馬)
 - 2 山村淳一 (練馬)
 - 一五〇〇米 1 江藤誠一郎 (練馬)
 - 五〇〇〇米 1 江藤誠一郎 (練馬)
 - 走高跳 1 深津敏夫 (練馬)
 - 走巾跳 1 富野 朗 (練馬)
 - 砲丸投 1 加藤源八 (練馬)
 - 四〇才未満
 - 一〇〇米 1 原間 裕 (練馬)
 - 2 坂田長史 (練馬)
 - 四〇〇米 1 篠原備雄 (練馬)
 - 一五〇〇米 1 篠原備雄 (練馬)
 - 五〇〇〇米 1 吉田輝彦 (練馬)
 - 走巾跳 1 原間 裕 (練馬)
- 女子
- 五〇才未満
 - 一〇〇米 1 有馬浩二 (練馬)
 - 2 田島 光 (練馬)
 - 一五〇〇米 1 菅原富雄 (練馬)
 - 六〇才未満
 - 四〇〇米リレー
 - 1 練馬チーム
 - 女子
 - 走高跳 1 本橋郁子 (練馬)
 - 走巾跳 1 本橋郁子 (練馬)
 - 四〇〇米リレー
 - 1 練馬チーム
 - ▼総合成績
 - 練馬区
 - 男子
 - 三〇才未満 五十七点
 - 四〇才未満 四十七点
 - 五〇才未満 三十八点
 - 六〇才未満 九点
 - リレー 六点
 - 女子
 - 三十五・五五
 - 合計 一九二・五五
 - 優勝 練馬区
 - 二位 板橋区
 - 三位 豊島区
 - 四位 北区

第八回体協関係者合同新年会

体協、恒例の合同新年会は、一月二十二日(土)午後六時より、豊島区内「ポツポ」に於て、区、区教委、区議会、加盟団体会長会、加盟団体二十六の代表、スポ少傘下の少年野球の両連盟、女子ソフトボール、ネットボール、之に加えて設立間もない、なぎなた連盟、三十競技団体の関係者、二七名が参加、躍進する「練馬体協」そのものを示す大イベントとなった。

昭和五十一年以来、八回目を迎える年々、参加団体も増え、体協の年間事業としてもすっかり定着した。特に、体協基金確保のオクシオン

大会が呼びものとなり、女子役員参加が多くなったことは、大変喜ばしいことだ。

第一部 進行 寺崎

開会 野口理事長

挨拶 奥山副会長

挨拶 岩波教育長

乾杯 榎本会長代表

祝辞 大野区議会議長

第二部 進行 山田

カラオケ大会

挨拶 小口会長

卓球連盟 小沢

空手道連盟 小田壺

陸上協会 中島

水泳連盟 茨田

バレーボール連盟 山田

社会体育課 渡辺

区教委 教育長

体協 野口

会長会 上野

* 出場者全員に小口会長より参加賞が授与された。

第三部 進行 山下、松井

オクシオン 本間

タイムング、両とも、玄人はだしの本間常任理事の掛声に、山積の品も次から次と参加者の手に、独断と備見と云いながら、見事なさばき、本間君なくして、体協の新年会はありえないと云ってもよい程の活躍だった。

ご苦労様の一言につきます。

午後九時



挨拶する小口会長

万才三唱 井口スボ本部長
閉会 野口理事長
収入内容
○会費収入 七五九、〇〇〇円
○オクション 一四一、二〇〇円
合計 九〇〇、二〇〇円
○支出 六四〇、〇〇〇円
・差引収入 (体協基金積立) 二六〇、二〇〇円
利益金 二六〇、二〇〇円

城北四区対抗バレーボール大会

十二月四日・五日
区立総合体育館

男子の部(九人制)	石東ク (練馬) 2-1 (豊島)	オリジン電気	北クラブ (北)	2-1	練馬クラブ (練馬)
M.M.ク (板橋) 2-0 (練馬)	石南クラブ	芙蓉ク (練馬)	K.V.C (練馬)	2-1	豊島同好会 (豊島)
印刷局 (北) 2-1 (練馬)	石東クラブ	準々決勝	準々決勝		
男子の部(六人制)	稲高会 (練馬) 2-0 (豊島)	芙蓉ク (練馬)	芙蓉ク (練馬)	2-0	飛翔クラブ (北)
板橋ク (板橋) 2-1 (練馬)	稲高会 (練馬)	けやきA (板橋)	けやきA (板橋)	2-0	I.V.Y (練馬)
女子の部(九人制)	ひかりク (練馬) 2-0 (練馬)	準決勝	K.V.C (練馬)	2-0	けやきB (板橋)
印刷局 (北) 2-1 (練馬)	ひかりク (練馬)	けやきA (板橋)	けやきA (板橋)	2-0	芙蓉クラブ (練馬)
女子の部(六人制)	向丘ク (豊島) 2-0 (練馬)	北クラブ (北)	北クラブ (北)	2-1	K.V.C (練馬)
家庭婦人の部	芙蓉ク (練馬) 2-0 (板橋)	総合成績	北クラブ (北)	2-0	けやきA (板橋)
I.V.Y (練馬) 2-0 (北)	西ヶ丘	優勝	北区	二十二点	
		二位	板橋区	十七点	
		三位	練馬区	十六点	
		四位	豊島区	十五点	

スポーツ少年団
第三回ガイデン
フットボール大会

主権 練馬区スポーツ少年団
主審 練馬区サッカー協会
昭和五十八年一月二十三日
中央グラウンド跡地

六年以下の部	A組 1 立野	A	豊東	A
	2 豊東	A	大ニ	A
	3 大ニ	A	練三	A
	B組 1 練三	A	早宮	A
	2 早宮	A	上右	A
	3 上右	A	橋戸	A
	C組 1 橋戸	A	豊ス	A
	2 豊ス	A	中西	A
	3 中西	A	豊東	D
	A組 1 橋戸	C	豊東	D
	2 豊東	D	早宮	D
	3 早宮	D	早宮	E
	B組 1 橋戸	C	豊東	E
	2 豊東	C	豊東	E
	3 早宮	E	豊東	E
	A組 1 豊ス	B	豊東	B
	2 豊ス	B	豊東	B
	3 豊東	B	豊東	B
	B組 1 豊ス	C	豊東	C
	2 豊ス	C	豊東	C
	3 豊東	C	豊東	C
	C組 1 豊東	F	豊東	F
	2 早宮	F	豊東	F
	3 立野	F	豊東	F
	三年以下の部	E	豊東	E

練馬体協
法人化に向けて出発・進行

昭和五十七年
○昭和五十七年
体協基金の積立を決議する
○昭和五十四年
創立三十周年事業として、取り
組み、今月まで基金積立を継続
した。
○昭和五十七年
総会に於て法人化を決議、現在
基金は四〇〇万の見送しとなった。
▼計画(五ヶ年)
○昭和五十八年より
年額三〇〇万円の達成を図る。
○昭和六十二年までに
総額二、〇〇〇万円とする。
○昭和六十三年度中に
財団法人格を取得する。
東京部下の区市体協の動きを見ま
すと、法人格を取得した団体は、
○港区体育協会
○小金井市体育協会

第三回都民健康マラソン
鈴木愛子さん
優勝

一月十六日の都民健康マラソン大
会、第三部、女子十二組に出場し
た、練馬区陸上競技協会の鈴木愛
子さんが、なみいる強豪をおさえ
堂々と優勝した。
優勝 鈴木愛子 四七分十七秒

区スポーツ少年団副本部長
区体育協会 理事

小宮太郎さん急逝

昭和五十五年、七月、練馬区スポーツ少年団結成以来、本部長任委員、副本部長、体協理事として、本協会の中枢として活躍された小宮太郎さんが、十二月二十五日（土）午後七時、入院先の順天堂

病院に於てなくなられました。ここに謹んで、故小宮太郎さんのご冥福をお祈り申し上げます。

二十七日 お通夜
二十八日 告別式
告別式は、豊玉上二丁目の自宅に



故 小宮太郎氏の葬儀

於て、午後一時より多数の関係者列席のなか、しめやかに行われた。練馬区軟式少年野球連盟 理事長として永年にわたり献身的な努力で、今日の少年野球界を創りあげた、生みの親、育ての親であり「小宮さんなくして、少年野球を語ることは出来ない。」とも云えましよう。

特に、少年野球を統率、区スポーツ少年団の結成に参加、この面でも第一線にたつて、大きな功績を残されました。

葬儀は、田畑練馬区長が委員長となり、練馬少年野球連盟の全役員、全チームを初め、区、区教育委員会の多くの関係者、区体協、スポーツ少年団代表と大変なごきわいで、故人の人徳がしのばれました。

故 小宮太郎さん（六〇才）
練馬区体育協会 理事
練馬区スポーツ少年団本部 副本部長
練馬区軟式少年野球連盟 理事長

小宮さんに捧げる言葉

野口嘉郎

九月十五日の区民体育大会の閉会式、十月十日の区民祭、ともにその指揮をとっていた貴方が、わずか二ヶ月半で帰らぬ旅に出るとは、全く信じることが出来ません。貴方は、少年野球をその枠から、

全スポーツ組織に加入・拡大を図りました。その英断は、貴方たからこそなした偉業なのです。今、スポーツ少年団の結成から今日までの二ヶ月半をふりかえる時、最大の組織を卒い、いつでも、どこでも、その先頭を切ったあの勇姿が目に見えます。

又、貴方の意見がどれ程大きな役割を果たしたか、数えきれません。練馬のスポーツ界は、かけがえのない人を失いました。運命とは云え、その非情をうらんでいます。

本堂にいつまでも、元気でいてほしい。あ的情熱、企画力、実行力、私達は、貴方の志を継ぎ、練馬区の社会体育の発展に、スポーツ少年団、少年野球の育成に、頑張ってください。

どうぞ、安らかに永眠して下さい。

◎昭和52年の第一号より六ヶ年間発行し第二十一号となりました。
58年度より年四回の定期発行の予定です。
情報提供、投稿をお待ちしております。

東京都練馬区中村北一一九
練馬区体育協会
代表 小口 政雄
編集 野口 嘉郎
丸九三二二二一七67

編集たより

●体協新年会は昭和五十一年から恒例のものとして開催されて来ました。伊藤本館での第一回は四十名程の参加でしたが、今年は一六八名、参加競技団体三十一、これに区、区教委の来賓が多数ご出席下さり、参加者・内容とも区内でも類をみない素晴らしい会となりました。

その果実として、体協基金、二十六万円が生れました。小口会長も深く感激、皆様への感謝の言葉をよせておられます。紙上より、お伝えいたします。

●練馬体協の使命は

1. 法人化の達成
2. 四十周年事業

この二つの柱は、平行してすすまねばなりません。

これから永遠につづく、体協の歴史の中に、我々の足跡として、輝く最高峰こそこの事業だと思えます。

何人からも強いられて行うものではないと、全員の専任と犠牲の上になつて、笑顔をもち取り組まねば出来ぬものではないとあります。

我々の手で、練馬体協の最高の歴史をつくりあげようではありませんか。

皆様の声と
力と
スクラムで